

なみ 16号

わたしが好き
なかまが好き
ふるさとが好き



紙芝居で中学生と

7月8日(水)、赤岡中学校の図書委員のみなさんが学校に来てくれて、全学年に紙芝居の読み聞かせをしてくれました。どれも子どもたちにはおなじみの話でしたが、場面ごとに声色を変えたり強弱や間のとり方を変えたりするなど、中学生らしい表現の工夫も見られ、それぞれの教室で静かに耳を傾ける様子が見られました。

読み聞かせを通してお話の楽しさだけでなく、中学生と交流する楽しさも味わうことができました。



赤岡小学校の5・6年生といっしょに

7月9日(木)には、5・6年生が赤岡小学校の5・6年生と、防災キャンプをテーマにオンラインで交流活動を行いました。一発ギャグや好きなものの紹介を盛り込んだ自己紹介で交流は和やかに始まり、続いて本題に。赤岡小学校のみなさんからは、実際にやってみた感想や、活動の中で困ったこと、防災キャンプを行う上で大切なこと等について、たくさんの質問が寄せられました。子どもたちは、「暑を敷くのが大変でした。」「夜は思ったより寒かったの、寒さ対策も必要です。」「みんなが役割を果たし、協力し合うことが大切です。」など、体験を思い出しながら丁寧に答え、赤岡小学校のみなさんはメモを取りながら真剣に聞いてくれました。自分の考えや思いは、言葉にして人に伝えることで、より鮮明に記憶に刻まれます。全員が分担して質問に答えたことは、貴重な振り返りの場になりました。



2学期には合同での修学旅行も控えています。今よりももっとお互いを知り、仲良くなって楽しい修学旅行にするよう、これからも計画的に赤岡小学校との交流を進めてきます。

吉川みどり保育所メロン組さんと1年生

最後は、7月10日(金)の1年生が吉川みどり保育所のメロン組さんの交流の紹介です。今回は1年生が保育所を訪問しての活動でした。4か月前まで毎日と一緒に過ごしたお友達なのに、どこかよそよそしさを感じる雰囲気、交流活動はスタートしました。でも、『チェッコリ』のダンスを踊ったり、タンバリンの数に合わせてグループに分かれたりするうちに表情が柔らかくなり、『なべなべそこぬけ』で遊ぶ頃には笑顔がいっぱいになりました。体を動かして仲良くなった後は、いっしょに名札づくりです。名前を書く場面では、ひらがなを教えたり、お手伝いをしたりと、さすが小学生という頼もしい姿を見せてくれました。名札を見せながらお話をし、質問をして交流し、感想を伝えあって予定していた活動は終わる…はずでしたが、ここで、最後におまけの活動。メロン組さんといっしょにみんなで太鼓をたたき、大盛り上がりで楽しく交流活動を締めくくりました。

2学期にはメロン組さんを小学校に招待した交流活動を予定しています。

